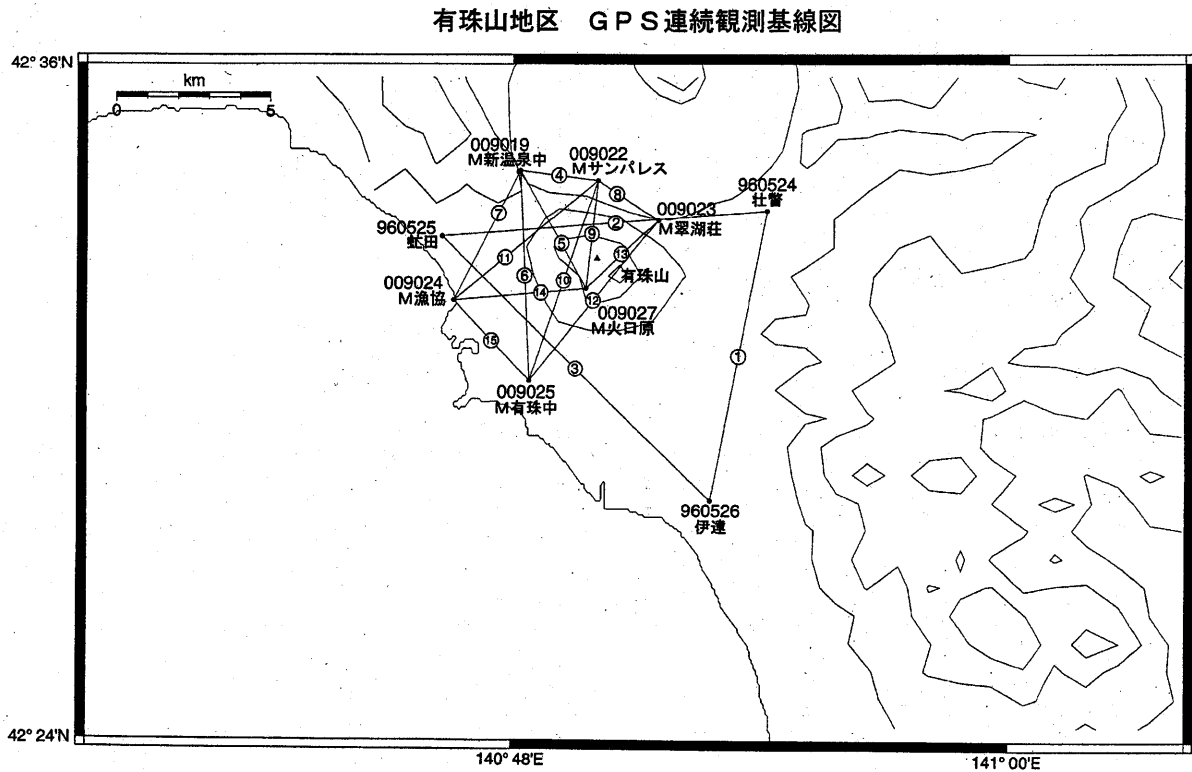


有珠山およびその周辺の地殻変動*

Crustal deformations of Mt. Usu and its surrounding area

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1-1図～第1-2図は、有珠山周辺のGPS連続観測結果である。第1-2図に代表的な基線について、時間変化をプロットした。2000年噴火後は、山体の西側を中心とした収縮が見えている。収縮は指数関数的な減衰曲線にのっている。噴火時に形成されたシルにおいてマグマからの脱ガスが進行していることによる収縮の可能性が高いと思われる。有珠山周辺の広域のGPSにも特に変化はない。



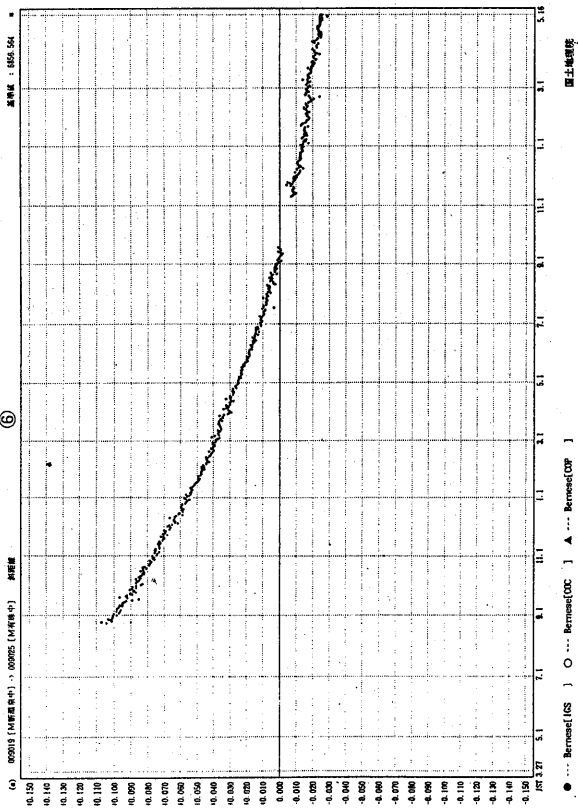
第1-1図 有珠山周辺のGPS観測結果

Fig.1-1 Results of Continuous GPS Measurements around Mt. Usu during March 2000 to May 2002.

* Received 9 Aug., 2002

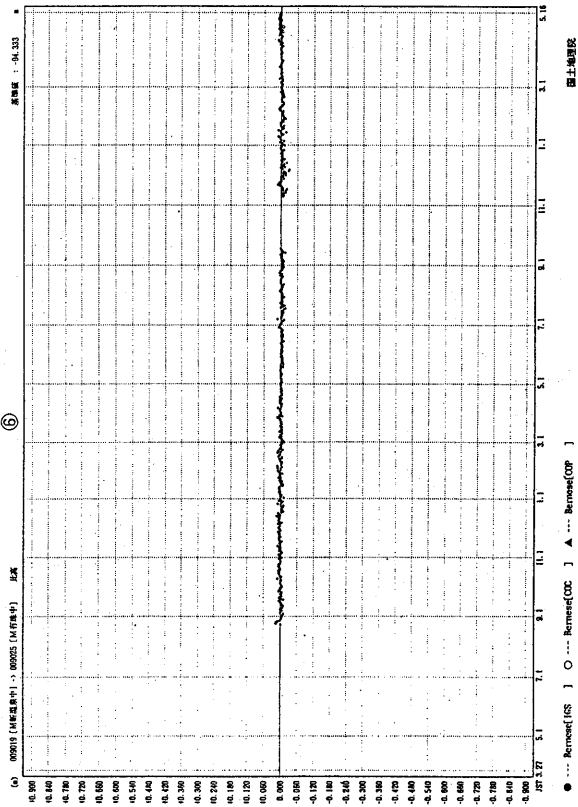
基準長変化グラフ

期 間: 2000年3月27日 ~ 2002年5月16日



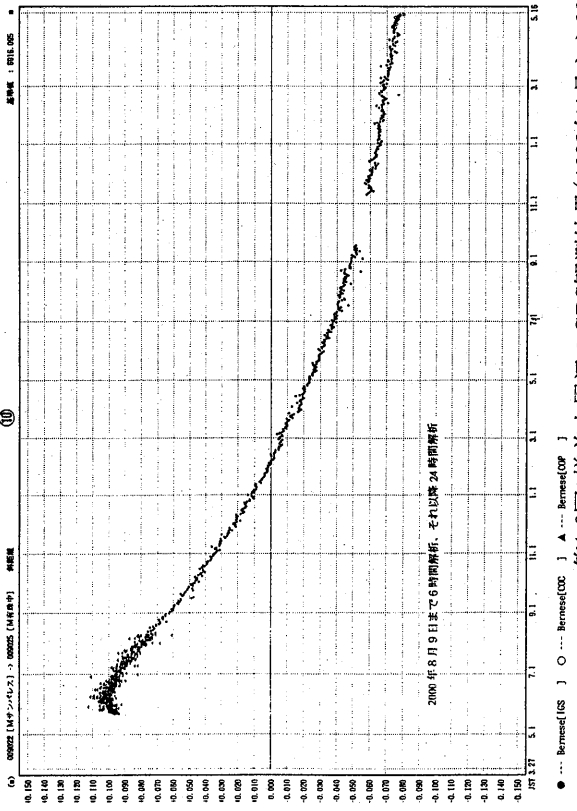
比高変化グラフ

期 間: 2000年3月27日 ~ 2002年5月16日



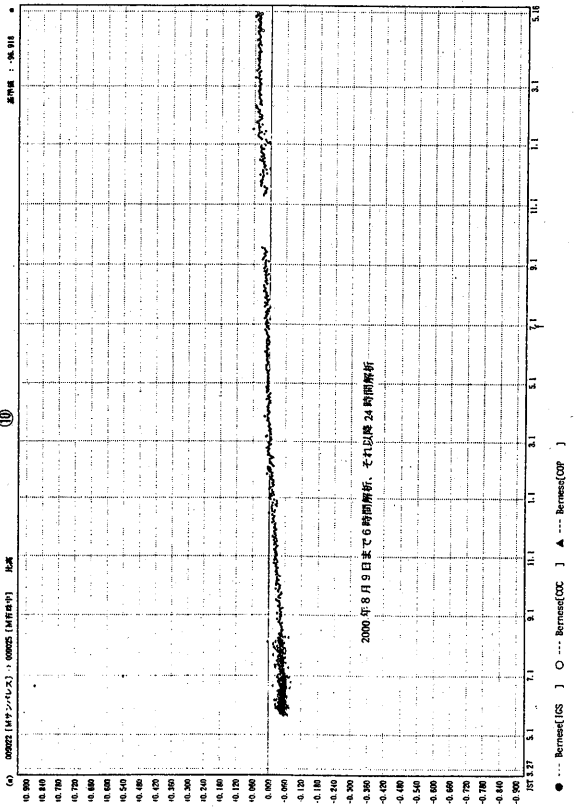
基準長変化グラフ

期 間: 2000年3月27日 ~ 2002年5月16日



比高変化グラフ

期 間: 2000年3月27日 ~ 2002年5月16日



第1-2図 樽前山周辺のGPS観測結果(1998年1月から2002年5月)

Fig.1-2 Results of Continuous GPS Measurements around Mt. Tarumae during January 1998 to May 2002.